

分野	看護の統合と実践 －看護の統合と実践－	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	看護の統合と実践演習Ⅳ Integration and practice Nursing Practice Ⅳ	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>対象に適した看護技術を安全に提供するための実際を学ぶ。統合技術試験では、注射の目的や対象の状況を理解し、安全に正確に提供するための実際を学ぶ。</p> <p>また、防災演習では、病院からの避難・誘導を経験し、災害時の看護師の役割を考える。更には、既習の知識を活用し、心肺蘇生法を後輩に伝達指導する。</p> <p>複数受け持ち演習では、模擬患者の事例から、多重課題、優先順位を判断する根拠や問題点を考え、対象にあった看護を安全に提供できる判断力を養う。また、医療依存度の高い患者に必要な技術の実践として、実習経験の頻度が低い口腔・鼻腔吸引・体位ドレナージの実施を基本知識の確認を行い、対象の状態に合った技術を理解する。呼吸管理の流れとして人工呼吸療法についても学ぶ機会とする。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象にあった看護技術を模擬患者に実施することができる。 2. 安全な医療提供のための看護の実際を学ぶ。 3. 模擬複数患者に対する患者管理を学ぶ。 		
評価方法	<p>統合技術試験 与薬：技術試験 1 項目 10 点 3 項目 計 30 点 評価は、評価表の項目に基づき評価し、1 度目の試験結果が成績となります。 しかし、技術の保証のため、再試験を受けて合格するまで実施してください。</p> <p>防災演習 避難訓練：演習レポート 10 点 計 10 点 複数受け持ち演習 技術演習：計 60 点 事前学習、演習レポート、演習への参加態度、テーマに沿ったレポートを総合して評価します。</p>		
使用テキスト			
参考図書			
メッセージ	<p><統合技術試験 与薬> この単元は、技術試験となります。オリエンテーションは、単元の時間外に事前に行います。各自が試験にむけて計画を立てて自己学習し練習を行いましょ。</p> <p>安全・確実な技術の修得を目指しましょう。</p> <p><防災演習 避難訓練> この単元は、秋季避難訓練の中で実施されます。避難訓練の内容や避難経路を事前に確認して下さい。BLS 訓練は、当日の計画を立案し、事前の確認や準備を行い演習にあたって下さい。後輩全員へ指導ができるよう臨むことを期待します。</p> <p><複数受け持ち演習 技術演習> 病態生理各論で習った知識を活かして看護を理解しましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	注射に関する看護技術	目的を理解し、安全かつ正確な注射に関する技術を理解する	<1~4 統合技術試験> 統合技術試験内容は以下の3項目を実施する。 ・静脈注射 ・静脈内点滴注射 ・静脈血採血 技術試験は1項目。 試験項目は前日発表となる。	試験	
2	注射に関する技術試験	目的を理解し、安全かつ正確な注射に関する技術を理解する	静脈血採血	試験	
3	注射に関する技術試験	目的を理解し、安全かつ正確な注射に関する技術を理解する	静脈注射	試験	
4	注射に関する技術試験	目的を理解し、安全かつ正確な注射に関する技術を理解する	静脈内点滴注射	試験	
5	防災演習	実習場所からの避難経路がわかり、災害時の対応が述べられる	防災演習（避難訓練参加） 1)災害時の避難、誘導	演習	
6	BLS演習	心配蘇生法の技術の習得および後輩へ伝達指導する	2)救命救急処置 チューターグループ毎にBLSを行う。 所要時間内に全員が体験できるよう計画立案し、実践する。	演習	
7	災害時の看護師の役割	避難訓練を通して災害時の看護師の役割を述べられる	3)まとめ レポートをもとにディスカッション テーマ①避難訓練を行って感じたこと・考えたことを踏まえて、看護師の役割をどう考えるか。 テーマ②災害時の看護師の役割をどう考えるか。 大震災時、どんな看護が必要と考えるか。	個人ワーク	
8	複数受持ち演習	複数受持ち模擬患者の情報から、1日の業務計画を立案する	<8~11 複数受持ち演習> 1.複数受け持ち患者の情報の整理 2.複数受け持ち患者の1日の業務計画立案と時間管理・調整	個人ワーク	
9	複数受持ち演習	多重課題発生時の優先順位を判断する根拠を述べられる	1)患者情報の整理と多重課題の抽出 2)多重課題、優先順位の判断 どのような思考を用いて判断したのか ・優先順位の判断 ・重症度の判断 ・緊急性の判断 ・患者の安全 ・報告・相談・連絡	GW	
10	複数受持ち演習	自己の傾向を理解し、多重課題発生時の問題点とその対応を述べられる	1)多重課題、優先順位を判断する根拠、問題点とその対応 ・優先順位の判断 ・重症度の判断 ・緊急性の判断 ・患者の安全 ・報告・相談・連絡 ・自分の心理	GW	

11	複数受持ち演習	自己の傾向を理解し、多重課題発生時の問題点とその対応を述べられる	1) 多重課題、優先順位を判断する根拠、問題点とその対応 <ul style="list-style-type: none"> ・優先順位の判断 ・重症度の判断 ・緊急性の判断 ・患者の安全 ・報告・相談・連絡 ・自分の心理 	GW	
12	医療依存度の高い患者に必要な技術	原理原則に基づいた口腔・鼻腔吸引・体位ドレナージを理解する	<12～15 医療依存度の高い患者に必要な技術の実践> 基本知識の確認を行いながら、口腔・鼻腔吸引・体位ドレナージの実施	演習	
13	医療依存度の高い患者に必要な技術	対象の状態に合わせた口腔・鼻腔吸引・体位ドレナージを理解する	医療依存度の高い患者に必要な技術の実践 模擬患者の状態に合わせて、口腔・鼻腔吸引・体位ドレナージの実施	演習	
14	人工呼吸療法	人工呼吸療法について理解する	人工呼吸療法 人工呼吸器の設定項目 人工呼吸器使用の流れ 加温加湿器と人工鼻 人工呼吸中のモニタリング、パルスメーターオキシメータについて	講義	外部講師
15					